

1 前提

該当する地域	平坦地～中山間地
設定した経営規模	シンテッポウユリ5a、ブロッコリー30a、白ネギ20a、水稻30a
自家労働	2.5人
その他	①セルトレイ育苗

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次													

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (F) × (G) × 利率
作業場兼収納舎	木造	50 m <sup>2</sup>	3,150,000	6	185,294	185,294	15	12,353	8	86,471	100	3,459
ビニールハウス	6m×25m	1 棟	736,200	50	368,100	368,100	14	26,293	7	184,049	50	3,681
トラクタ	4WD・25ps	1 台	1,920,000	10	192,000	192,000	7	27,429	4	82,286	50	1,646
ロータリ	160cm	1 台	381,000	10	38,100	38,100	7	5,443	4	16,328	50	327
動力噴霧機	可搬式 6ps	1 台	221,130	45	99,509	99,509	7	14,216	4	42,647	100	1,706
管理機	3.5ps	1 台	197,400	20	39,480	39,480	7	5,640	4	16,920	100	677
灌水ポンプ	400 <sup>リットル</sup> /分	1 式	171,200	50	85,600	85,600	7	12,229	4	36,686	100	1,467
人力噴霧器	16.7 <sup>リットル</sup>	1 台	34,230	30	10,269	10,269	7	1,467	4	4,401	100	176
刈払機		1 台	64,050	6	3,768	3,768	5	754	3	1,507	100	60
軽トラック	660cc、4WD、350L	1 台	850,000	25	212,500	212,500	4	53,125	2	106,250	100	4,250
合計			7,725,210		1,234,619	1,234,619		158,947		577,544		17,449

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
シンテッポウユリ	F1オーガスタ	露地	28000本	水田転換畑	5a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
ビニール被覆	11/中			人力	○ハウス内で育苗する。 ○ハウスの被覆ビニールは2年毎に張り替える(本ぼ10a 当たり70㎡のセルトレイの置き場所が必要)。	0.1	2	0.7	
播 種	12/下～1/上	種子 200穴セルトレイ 水稲育苗箱 トロミックス350 ポリフィルム (150cm幅) ポリフィルム (200cm幅) トンネル支柱	70,000粒 350枚 350枚 1,300ℓ 55m 60m 60本	人力 灌水ポンプ	○翼は軽く除去し、用土を詰めたセルトレイに播種後、ごく薄く用土で覆土する。 ○底面吸水で十分吸水させる。 ○ハウス内にトレイを並べ、透明ポリフィルムをベタ掛けし、さらに透明ポリフィルムでトンネルをする。	0.5	2	3.0	ガソリン 0.5
播種後の管理	1～4/下			人力	○発芽後は速やかにベタ掛けのポリフィルムを取り除く。				
灌水				灌水ポンプ	○発芽後は1～2週間に1回程度午前中に十分灌水する。	1.5	1	3.0	ガソリン 1.5
温度管理					○発芽までは15～20℃、発芽後は15℃を目安にトンネルやハウスサイドを開閉して換気する。 ○定植2～3週間前からハウスサイドを開放し、外気にならす。		1	7.5	
追肥		キッポ青	1.5ℓ	灌水ポンプ	○追肥は液肥を4回施用する。	0.8	1	0.8	ガソリン 0.8
病虫害防除		ダコニール1000 アトマイヤープロアブル	15ml 3ml	人力噴霧機	○葉枯病の防除を月1回程度行う。 ○3月にはアブラムシの防除を行う。	0.3	2	1.2	
本ぼの準備	3/下～4/中	堆肥 セルカフrend ミネラル宝素 花複合花子 バスアミド微粒剤 被覆用古ビニール	10t 160kg 160kg 200kg 20kg 10a分	トラクタ・ロータリ 管理機 軽トラック	○定植1ヵ月前には基肥を投入し、耕耘する。 ○畦幅100cm、通路50cmに畦を作る。 ○雑草防止のため、バスアミドを畦表面に散布しレーキ等で軽く土と混和した後、古ビニールで覆う。	0.5	2	8.0	軽油 4.5
灌水施設設置	4/下	灌水チューブ	700m	人力 灌水装置	○灌水チューブを設置する。 ○定植前に十分灌水する。	1.0	2	4.0	ガソリン 1.0
定 植	4/下～5/上			人力	○本葉2～2.5枚で定植する。 ○株間12cm、条間12cm、8条植え 10a 当たり定植本数40,000本。		2	64.0	
ネット張り	4/下～5/上	フラワーネット (12cm×12cm、8目) (4年間使用) 支柱700本 (4年間使用)	1,300m	人力 軽トラック	○倒伏防止のため、フラワーネットを2または3段張る。 ○長さ1.5mの支柱を2mおきに立てる。	1.0	2	16.0	ガソリン 1.0
不織布の被覆	4/下～5/上	不織布 (2年間使用)		人力	○活着促進のため、10cm程度に上げたネットの上に不織布をかける		1	5.0	
		キッポ青	4ℓ	灌水装置	○定植後活着するまで灌水がわりに2～3回液肥を施す。	2.0	1	2.0	ガソリン 2.0

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (%/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
マルチ張り	4/下～5/上	シルバ-ポ-リフィルム	幅30cm× 長さ1,300m	人力 軽トラック	○雑草と乾燥防止を兼ねて、畦肩部分 をシルバ-ポ-リフィルムで被覆する。	1.0	2	8.0	ガソリン 1.0
灌 水	4/下～8/中			灌水装置	○生育初期は乾かさない。 ○生育中は乾燥したら十分に灌水する。 ○夏季は乾燥がひどいときには、1回 の灌水量を多くする。	12.0	1	3.5	ガソリン 12.0
追 肥	5/上、5/下、 6/中、7/上 7/下	花複合太郎 I B化成S 1 号	100kg 300kg	人力 軽トラック	○肥切れしないように追肥する	1.0	1	4.0	ガソリン 1.0
ネット上げ	6/上、6/下、 7/中			人力	○生育につれ、遅れないようフラワー ネットを上げていく。		2	3.0	
病虫害防除	4/下～8/中	ジェイエース粒剤 ダコニール1000 トップジンM水和剤 フルピカフロアブル アトマイザーフロアブル トレボン乳剤 ジェイエース水溶剤 ニツラン水和剤 ピラニカEW コテツフロアブル	6kg 1,000ml 700g 450ml 700ml 300ml 600g 150g 150g 300ml	動力噴霧機 軽トラック	○葉枯病、アブラムシ類、ハダニ類、 アザミウマ類が多発するので予防 散布を徹底する。	8.0	2	18.0	ガソリン 16.0
切り花、出荷	7/中～8/下	ハサミ バケツ ダンボール箱 クラフトテープ 結束ゴム ラップフィルム	3丁 10個 490箱 23個 2,800本 2,800枚	人力 軽トラック	○蕾が膨らみ、やや白くなったら採花 する。 ○1リン、2リン、リン付き(3～5リン)、多リン (6リン以上)に分け、10本を1束に してゴムで結束する。 ○花を上向きにまとめてラッピングする	10.0	2	300.0	ガソリン 8.0
後片付け	9/上			ロータリ	○球根掘り上げ後、耕うんする。	0.5	1	16.0	軽油 2.5
合 計								469.2	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明
粗収益	主産物価額③	2,128,000	生産量① : 28,000 本 単価② : 76 円/本
	主産物価額	0	生産量 :
	主産物価額	0	生産量 :
	副産物価額④	0	
	計 (A)	2,128,000	
生産	種 苗 費	261,345	
	肥 料 費	154,242	使用資材等は技術体系のとおり
	農 薬 費	76,005	"
	諸 材 料 費	191,365	"
	動力光熱費	9,439	
	農 具 費	59,614	機械負担価額×4%
	建物等修繕費	18,358	建物・構築物負担価額×1%
	賃 料 料 金	0	
	共 済 掛 金	2,198	
	雇 用 労 賃	960	
	減価償却費⑤	317,894	別表のとおり
	土地改良費	8,849	
	支払地代⑥	0	
	小計 (B)	1,100,268	
費	販売費一般		
	出荷資材費	170,274	
	管理費		
	販 売 諸 費	382,354	
	諸税負担金	42,298	農協賦課金、車検料、固定資産税
	事務研修費	6,541	農業新聞購読料、電話代
支払利息⑦	5,653	借入資本利率2%	
小計 (C)	607,120		
経 営 費 (D)	1,707,389	注) (D) = (B) + (C)	
家族労働費見積額 ⑧	866,710	農 従 労 働 時 間 : 640.9 生産管理労働時間 25.8 1,300 円/時間	
支払利子・地代算入生産費(E)	2,574,099	主産物単位当たり 92 円/1本 注 (E) = (D) +⑧-④	
自己資本			
流動資本利子⑨	45,011	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)			
固定資本利子	34,897	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	11,500		
全算入生産費 (H)	2,665,507	生産物単位当たり 95 円/1本 注) (H) = (E) + (F) + (G)	
所 得 (I)	420,611	時間当たり 631 円 注) (I) = (A) - (D)	
所 得 率 (J)	20	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100	
農企業利潤 (K)	-537,507	注) (K) = ③- (H)	
家族労働報酬 (L)	329,203	時間当たり 494 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)	
農業資本利潤 (M)	-446,099	注) (M) = (I) -⑧	

